

平成22年 6月21日

株式会社 東海セーフティ 様

(社) 被害者サポートセンターあいち事務局

寄付のお礼と領収書等の送付について

初夏の候、皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当センターの運営に格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたびはご寄付をいただき誠にありがとうございました。領収書を送らせていただきます。

今後とも被害者サポートセンターあいちへのご支援をよろしくお願い申し上げます。



南三陸町で高齢の患者のケアにあたる国境なき医師団の医師たち。(2011年3月23日)

株式会社 東海セーフティ 様

この度は、国境なき医師団の活動をご支援くださりまして、誠にありがとうございました。

国境なき医師団の医療チームは、東北地方を大地震と津波が襲った翌日から、甚大な被害を受けた孤立被災地などをまわり、緊急援助活動を行っています。現在は、宮城県登米市を拠点にスタッフ12人が宮城県の南三陸町と岩手県の田老町の各避難所で移動診療を行いながら、その他の地域でも被災した人びとの正確なニーズの把握に努めています。また日本臨床心理士会から派遣された6人の臨床心理士と連携しながら、心理ケアの提供も開始しました。

国境なき医師団ではこれからも、機動力のある少人数のチーム編成で、医療援助が行き届いていない住民の発見に努めるとともに、高齢者や子ども、慢性疾患を持つ患者など、より弱い立場におかれた人びとのニーズに焦点をあてて活動します。

国境なき医師団の緊急医療援助活動は皆様からの寄付によって支えられています。ご支援ありがとうございました。

特定非営利活動法人
国境なき医師団日本
事務局長
エリック・ウアネス



株式会社 東海セーフティ 様

この度は国境なき医師団の活動をご支援くださりまして誠にありがとうございました。

ハイチで昨年10月下旬に始まったコレラの流行に対応している国境なき医師団は、2月中旬までにハイチ全域で11万人を超える患者に治療を提供しました。加えて、患者の数に比べてスタッフの数が不足していることを重く見て、現地の医療従事者を対象としたコレラの治療手順や衛生管理の指導などの研修を行いました。これまでに550人以上のハイチ人看護師と看護助手に研修を行い、国境なき医師団が運営するコレラ治療センターでの死亡者数を急速に減らすという成果につながっています。ハイチでは現在も7500人のハイチ人スタッフと、日本人を含む430人の海外派遣スタッフが現地でプログラムを運営し、コレラと闘っています。

国境なき医師団の緊急医療援助活動は皆様からの寄付によって支えられています。ご支援ありがとうございました。

特定非営利活動法人
国境なき医師団日本
事務局長
エリック・ウアネス



株式会社 東海セーフティ 様

この度は、国境なき医師団の活動をご支援いただき、誠にありがとうございました。

大地震を被災した人びとの多くがいまも厳しい生活を強いられているハイチで、追い討ちをかけるように流行が拡大し続けるコレラに対応するため、国境なき医師団は従来から活動していた3千人のスタッフに加えて1千人以上のコレラ対応スタッフを増員し、治療と感染拡大の防止にあたっています。1月2日までに1千トン以上の医薬品や資材をハイチに輸送し、9万1千人以上の患者を治療しています。国境なき医師団は2011年のハイチ救援活動予算として約49億円、さらにコレラ対策費用として約8億を投じる予定でハイチの人びとの医療ニーズに応えるために全力を傾ける所存です。

(現地での活動概況は、ホームページにて随時更新しています。)

国境なき医師団の緊急医療援助活動は皆様からの寄付によって支えられています。ご支援ありがとうございました。

特定非営利活動法人
国境なき医師団日本
事務局長
エリック・ウアネス